

第9回宮本CUPミニサッカー3年生大会

実施要項

1. 主催 宮本ジュニアサッカークラブ
2. 協賛 ハイパースポーツ(株)
3. 協力 峰台SSS
4. 目的 子供たちがゲームを通じてフェアプレーの精神を学び、また各チームとの交流を図りながらサッカーへの情熱を深める。

5. 期日

予選リーグ:平成30年2月10日(土曜日)雨天順延 予備日:2月12日(月曜日)雨天決行

決勝トーナメント:2月12日(月曜日)雨天順延 予備日:2月17日(土曜日)雨天決行

6. 会場 予選リーグ 宮本小学校、峰台小学校 決勝 宮本小学校

(1)予選リーグ(計16チーム)(車1チーム2台)

宮本小学校

Xブロック(Aグループ4チーム、Bグループ4チーム)

峰台小学校

Yブロック(Cグループ4チーム、Dグループ4チーム)

各グループ2位以内チームが決勝トーナメント進出

(2)決勝トーナメント(計8チーム)(1チーム車2台)

宮本小学校

7. 参加条件

- (1)小学校3年生以下の男女とする。
- (2)1チーム1名以上の審判(審判服着用)を帯同していること。
- (3)選手は健康であり、保護者の同意を得ていること。
- (4)スポーツ傷害保険に加入していること。

連絡、問合せ先

宮本JSC 事務局 中村康之

船橋市若松1-1-21-204

TEL、FAX 047-432-7446 dreamifootballproject@gmail.com

Mobile 080-3549-3593 flying-dutchman@wcm.ne.jp

8. 大会規定

8.1 参加条件

- (1)小学校3年生の部は3年生以下の男女とする。
- (2)1チーム1名以上の審判を帯同していること。
- (3)選手は健康であり、保護者の同意を得ていること。
- (4)スポーツ傷害保険に加入していること。

8.2 順位の決定

(1)予選リーグ

順位の決定は勝ち点により行う。(勝ち3点、引き分け1点、負け0点)勝ち点と同じ場合は、得失点差、総得点、対戦結果、PK戦の順で決定する。

(2)決勝トーナメント

予選リーグにて各ブロック2位までのチーム(8チーム)が決勝トーナメントに進出できる。

(3)PK戦

PK戦は、試合終了時に競技者(ベンチにいる交代選手も含む)のより多いチームは、相手チームの人数と等しくなるように競技者数を減らし、それらの選手の中から任意に選出した3人の選手で行う。同点の場合は、以降サドンデスとする。4本目以後のキックは、最初の3本のキックを行っていない選手が行う。選手全員がキックを行った後、2巡目のキックは1巡目と違う順序でもよい。

8.3 試合方法

- (1)試合時間は10分ハーフ(10分-3分-10分)とする。
- (2)競技者の数は1チーム5人(うち1人はゴールキーパー)とする。試合開始時に、1チーム4人で試合は成立、1チーム3人以下の場合は不戦敗とする。
- (3)交代要員数および交代回数の制限は設けない。

交代は、タッチラインの中央に設けた交代ゾーンから、インプレー中、アウトオブプレー中に、自由に何度でも行える。ただし、プレー中の選手が完全にコートを出てから、交代選手が入ること。これに違反した場合は、その時にボールのあった地点で、相手側に間接フリーキックを与える。また、ゴールキーパーの交代もインプレー中、アウトオブプレー中に自由に行えるが、フィールドプレーヤーと異なるユニフォームを着用すること。

- (4)競技場は縦約40m、横約25mの長方形、ゴールの大きさは幅3m、高さ2mとする。ペナルティエリアは、ゴールラインから両ゴールポストの外側を中心に半径6メートルの1/4円弧を描き、その両端をゴールラインと平行な線で結び、これらとゴールラインによって囲まれた部分とする。また、ペナルティマークはゴールラインの中央から直角の方向に6メートル離れた地点とする。

8.4 ルール

日本サッカー協会のフットサル競技規則に準ずる。

(1) 審判

審判は主審、副審の2名で、タッチライン方式とする。

(2) 競技の開始

トスに勝ったチームが、エンドを選ぶ。キックオフから直接得点することはできない。

(3) 反則

基本的にはサッカーの規則に準ずるが、スライディングタックルは禁止とする。これらに違反した場合は、相手側に直接フリーキックを与える。タックルではない単なるスライディングは認められる。また、自分のペナルティエリア内のゴールキーパーに関しては、不用意に、無謀に、あるいは過剰な力で行ったスライディングでなければ認められる。

フリーキックの時、相手側は5m以上離れること。守備側の選手が自分の側のペナルティエリア内で直接フリーキックに相当する反則を犯した場合は、相手側にペナルティキックを与える。また、ペナルティエリア内で守備側が間接フリーキックに相当する反則を犯した場合には、違反が起きた地点に最も近いペナルティエリアライン上から間接フリーキックを行う。ペナルティエリア内で攻撃側が反則を犯した場合に守備側に与えられるフリーキックは、直接、間接にかかわらず、ペナルティエリア内の任意の地点から行う。

(4) キックイン

スローインの代わりにキックインで競技を再開する(間接フリーキック)。この時ボールはタッチライン上に置くこと。キッカーは、キックの際に軸足の一部をタッチライン上またはタッチラインの外のグラウンド上につけていなければならない。

(5) キーパースロー

ゴールキックの代わりにキーパースローで競技を再開する。ノーバウンドでハーフウェイラインを越えてはいけない。

(6) ゴールキーパーのプレー

インプレー中にキャッチしたボールは、投げるか、蹴ることができ、ドロップキックで蹴った場合はノーバウンドでハーフウェイラインを越えてもよいが、投げたボールとパントキックで蹴った場合はノーバウンドでハーフウェイラインを越えてはいけない。

(7) バックパス

ゴールキーパーへのキックによるバックパス(キックインを含む)は何度でもできるが、手で扱うことはできない。

(8) オフサイド

オフサイドはなし。

(9) 退場

退場者があった場合には、2分間の罰則時間後に競技者を補充できる。ただし、退場者はその試合と次の1試合に出場できない。

(10)4秒ルール

キーパースロー、フリーキック、キックインなどのリプレーに対する4秒ルールは適用しないが、速やかに行うこと。

8.5 試合球

試合球は小学生用フットサルボールとする。試合球は各チームで用意する。

8.6 不戦勝、不戦敗

原則として、試合開始時刻に10分以上遅れた場合は不戦敗とする。この時、不戦勝チームの勝ち点は3、得点は5、不戦敗チームの勝ち点は0、失点は5とする。

8.7 大会の延期

予選リーグ、決勝は予備日を設け、予備日は雨天決行とします。

9.表彰

3位までを表彰する。

10. その他

- (1)選手は必ずすね当てを着用すること。
- (2)審判は審判服を着用すること。
- (3)大会前に選手の健康チェックを行うこと。
- (4)けがについては、チームの責任において対処すること。
- (5)花壇(芝生)の中は立入禁止、また昼食時に出るゴミ等は各自持ち帰ること。

連絡、問合せ先

宮本JSC 事務局 中村康之

船橋市若松1-1-21-204

TEL、FAX 047-432-7446 dreamifootballproject@gmail.com

Mobile 080-3549-3593 flying-dutchman@wcm.ne.jp